

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名	合志市レジ袋削減推進協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	総務部	課長名 上山幸頭
体系	施策	7	地球温暖化防止対策の推進		所属課	環境衛生課	担当者名 小畑 英之
	基本事業	19	地球温暖化防止活動の促進		所属班	環境衛生班	(内線) 1142
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11541	法令根拠	合志市レジ袋削減推進協議会設置要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に向け、レジ袋の削減のために市民団体・事業者・行政等が相互理解と連携を図り、合志市におけるレジ袋の削減に向けた取組みを支援するため、平成22年9月に合志市レジ袋削減推進協議会を設置した。協議会では、具体的な取り組みの内容や事業所との協定及び活動に要する物品等の購入について協議し、平成23年6月1日に本格実施を開始した。
【業務の流れ】	協議会で、合志市のレジ袋削減に向けた取組内容を決定し、市民への啓発、周知を徹底して行い、平成23年6月1日スタートした。事務局として協議会で決定した取組内容についても積極的に情報公開等のサポートを行う。
【主な予算費目】	委員報酬、時間外勤務手当、費用弁償、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	熊本県は環境立県であるという認識から、県内全域での取組を強く呼びかけている。既に熊本市、水俣市、上天草市が本格実施しており、合志市においても早急に取り組むために協議会を平成22年9月に設置し、平成23年6月1日からスタートし先進市としての仲間入りを果たした。ただ、市内全事業所に対し、協力を呼びかけているが、有料化に踏み切れない事業所が殆どで、のぼりやポスターの掲示やお客さんへの声掛けは協力するが、事業所側の営業方針とお客さん離れを危惧する心情も理解して欲しいとの意見も出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
年4回の協議会を開催し、協議内容については市ホームページ等で公表している。平成23年6月1日からレジ袋の有料化に向けた取組みをスタートさせた。合志市内4事業所と有料化の協定を締結し、その他の事業所については、のぼりやポスターの掲示と併せ、お客さんへの声掛けを行ってもらうよう協力依頼をしている。	平成23年度に活動に要する経費を投入し、取組みをスタートさせたので、平成24年度は協議会の回数を2回に減らし、実績の報告を行うこととした。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 協議会の開催回数	回
→ イ: 広報・啓発の回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
協議会委員、事業所、市民	(単位)
	→ ア: 世帯数
	→ イ: 事業所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
レジ袋削減推進に伴うCO2発生量の抑制とごみ減量化に即した生活や事業活動が出来る。	(単位)
	→ ア: マイバック持参率
	→ イ: レジ袋無料配布中止を行った事業所
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
市民が身近に取組むことができるレジ袋削減及びマイバック持参事業を展開することで、地球温暖化に係る温室効果ガスの排出量削減やごみ排出量の抑制等、市民や事業所の意識の高揚が図れ、成果の向上が望める。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回		3	4	3	2			
	イ	回		4	4	4	2			
② 対象指標	ア	世帯 件		20,500	20,700	21,104	20,900			
	イ	件		120	96	96	96			
③ 成果指標	ア	%		0	50	82.6	80			
	イ	件		0	4	4	5			
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			4,492	1,496	181			
	(A) 事業費計	千円		0	4,492	1,496	181			
人 件 費	(A)のうち指定経費	千円		0	242	131	112			
	(A)のうち時間外、特勤	千円		0	19	12	0			
	正規職員従事人数	人		6	6	5	6			
延べ業務時間	時間		534	534	748	534				
(B)人件費計	千円		2,200	2,200	3,020	2,200				
トータルコスト(A)+(B)	千円		2,200	6,692	4,516	2,381				

事務事業名	合志市レジ袋削減推進協議会運営事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 熊本市、水俣市、上天草市に次いで、平成23年6月から有料化に向けた取り組みをスタートさせることが出来た。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 既に取り組みをスタートさせたので、全事業所に対して周知啓発を更に強化し、有料化に取り組む事業所を増やすとともに市民へも情報の公開等を通じて認識の高揚に努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 広報紙・ホームページでの周知啓発を徹底し、近隣市町村も同じ取り組みを実施することとなっているので、市民の認識も図れることから成果の向上が見込める	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地球温暖化防止と循環型社会の構築に向けては、類似事業があるが、レジ袋削減に向けた取り組みは単独事業として推進して行く	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 平成23年度は新規事業として、予算措置したが、平成24年度からは啓発グッズ等の需用費が抑えられる	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 平成23年度に活動に要する経費を投入したので、平成24年度は協議会委員への報酬・費用弁償のみの計上であり、また協議会の回数も2回に減らすことから削減余地はある。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 全事業所、全市民が対象であるので公平公正である	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度に協議会を設置し、取組内容等について、協議を重ねてきたが、市民への周知、広報活動がやや少なかった

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) レジ袋の削減については、引き続き店舗との協議や市民への啓発を推進していくが、協議会組織は、廃止する	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																					